

## 「鉄道車両製造事業の再編」に関する 申6号 解明申し入れ交渉 5回目②

37. J-TRECおよびE-TECにおける安全管理ならびに品質管理体制について明らかにすること。

### 《安全管理について》

- ・全社的には、J-TRECは経営企画部 安全企画室、E-TECは企画本部 安全品質推進部にて安全管理を行い、事業所では両社とも労働安全衛生法に基づき管理を行っている。
- ・新津と一緒にすることを通じて、J-TRECの安全に関する意識を高めていきたい。

### 《安全に対するルールについて》

- ・検討中であるが、各種ルールは良い方に合わせていくが、混乱が起きないように、目指すべき所は意志一致しながらも、移行時は各事業所のルールで行い、その後議論して決めていくこととなる。必要な教育・訓練はしていく。

### 《品質管理体制について》

- ・J-TREC・E-TEC共にISO9001を取得しており、それに基づいた体制をとっている。
- ・品質保証委員会はグループでよい車両を実現するためにつくったものなので継続する。

38. J-TRECおよびE-TECでの障害事故等の発生状況ならびに安全教育の実施状況を明らかにすること。

### 《障害事故の発生状況》

- ・昨年度はJ-TREC横浜にて不休7件、和歌山にて死亡事故1件、不休1件、E-TEC新津にて不休9件。(参考：新津車両製造所にて不休11件、休業1件)

### 《安全教育の実施状況》

- ・J-TRECは新入社員に基礎教育を実施。リスクマネジメントやKYT、部外研修等を実施。
- ・E-TECは新入社員等に基礎教育を実施。リスクマネジメントや階層別に安全研修を実施。

39. E-TECへの委託拡大に伴い「作業がしやすく、安全性が高まる」とする根拠を明らかにすること。

### 《「作業がしやすく、安全性が高まる」根拠について》

- ・従来の受委託では小規模で一連の作業が分断されていた。委託拡大で作業性が向上する。
- ・出向者がE-TEC社員にJR本体の安全文化を伝えていくことにより安全性が高まる。

### 《E-TECへの出向者の役割》

- ・今後E-TECが力を入れていく、部品製造を担ってもらうこととなる。

40. J-TRECおよびE-TECにおける技術・技能の維持・向上のためのプロパー社員の育成計画を明らかにすること。

### 《育成計画について》

- ・J-TREC横浜は、新人教育を6ヶ月、机上講義、基礎技能講習、実地研修を9ヶ月実施しており、新津の教育期間よりも長い。横浜にあわせていくかは検討中である。
- ・技能競技会には継続して参加していくこととなる。新津内の競技会も残る。
- ・E-TECは、業務内容により異なるが、溶接は9ヶ月基礎教育を行い、その後、数年間は実作業にて教育を行う。その他も数ヶ月～1年の期間の基礎教育を行っている。